**第１８回登別市市民自治推進委員会　ぬくもり部会議事録**

（敬称略）

◆ 開催日時：平成３０年１２月１０日（月）１８時００分～

◆ 開催場所：登別市役所本庁舎　２階　第２委員会室

◆ 出席部会員：部会長　 田渕　純勝

　　　　 　　副部会長　雨洗　康江

部会員　 今　順子

鎌田　和子

岩浅　眞純

　　　　　　　　　　　　 梅田　秀人（協働推進庁内委員会部会長）

 【保健福祉部次長】

◆ 欠席部会員：部会員　　佐藤　画美

平田　雅樹（協働推進庁内委員会副部会長）

【保健福祉部子育てグループ総括主幹】

◆ 事　務　局：　　　　　笠井　康之【市民生活部市民協働グループ総括主幹】

　　　　　　　　　　　　 塚崎　翔太【市民生活部市民協働グループ主任】

◆ 議　　　題：今後の部会における取組内容について

● 会議の要点

・前回までの話し合いの中で、岩浅委員が運営する施設を会場として、高齢者・障がい者・子どもが農業体験等を通して生きがいを得る事業を行うという案が出たため、岩浅委員から既存の事業等についてお話を聞きながら、部会としての事業内容について案出しを行う。

・既存の事業は配布資料のとおり。部会の事業としてできそうなものは次の２事業。

【避難訓練】

・ことし８月、施設まで徒歩で避難し、ジンギスカンを食べるという避難訓練を行った。

・寒い時期の災害にあっては、避難にも困難が伴うと思われるため、そのような中での炊き出し・給水訓練を行ってはどうか。薪ストーブの使用や井戸からの水の運搬などから多くの知見が得られると思われる。

・車椅子・子連れの方に参加していただき、弱者にやさしい避難所とするため暖房・移動やトイレ、ミルクなどの問題の検証や対応の検討をするのも良い。

・最初、部会のメンバーだけで試行してはどうか。

【収穫祭（１０月）】

・障がい者・高齢者・子どもが集まって、一緒に何かをできるとすれば、収穫祭が最も適している。皆で豚汁を作るなど。

・子どもたちに芋掘りや火起こしなどの体験をさせる中で高齢者や障がい者との交流の機会を持たせることができる。

・薪ストーブを使って調理するなど、非常時の火起こしや炊き出しの訓練を兼ねることもできる。同施設の他の企画のいくつかと組み合わせて実施してもよい。

・畑に入れない方には調理をお願いするなど、それぞれができることでイベントに参加ができる。

・ただ作業を体験するだけではなく、福祉に係る講話を交えるなどして、参加者に取り組みの意義を説明して理解してもらう必要はある。

・講話→収穫祭→調理→試食という流れが考えられる。

・雨天時は収穫をせず、ハウス内での調理などの対応ができる。

・これまでは参加者から５００円の参加料を徴していた。

【次回へ向けての方向性】

・収穫祭に絞って考えることとする。

・岩浅委員が収穫祭の流れについての資料を持っているので、次回それを見ながらイベントの内容を考えることとする。

・イベント名は「収穫祭を通した共生・交流事業（仮）」。

【次回について】

●収穫祭の内容について

日程：平成３１年１月２２日（火）　１８：００～